



(大阪)

2024年 新年号

プレス 会報

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

目 次

- ◆令和6年 年頭所感
 - 林 秀昭 大阪金属プレス工業会 会長 . . . 1
 - 高木 龍一 日本金属プレス工業協会 会長 . . . 2
 - ◆忘年会報告 3~4
 - ◆金属プレス研修塾 活動報告 5~6
 - ◆経営者懇話会 活動報告 7
 - ◆理事会・委員会等 活動報告 8
 - ◆金属プレス加工技術展2024 出展案内 9~10
 - ◆新年賀詞交歓会のご案内 11~12
 - ◆プレス金型特別教育のご案内 13~14
- <その他同封資料>
- マレーシア海外視察のご報告
 - 健康・福利厚生サービスのご案内 (輝総合保険事務所)
 - 産業雇用安定センター ご案内パンフレット
 - 在籍型出向 ご案内チラシ (経済産業省、大阪労働局)

工業会からのご連絡 (会員の皆様へ)

新春特別講演会と新年賀詞交歓会は2024年1月29日(月)開催です。
是非ご参加下さい。お申込みは1月15日(月)までにお問い合わせ致します!



← LINE 公式アカウント 友達登録
<https://lin.ee/8qMS6Bf>

大阪金属プレス工業会 HP →
<http://www.omsa.or.jp/>



年頭のご挨拶



(一社)大阪金属プレス工業会
代表理事 林 秀昭

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また旧年中は当会運営におきまして、多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、我々のプレス部品づくりの業界は、様々な世界情勢に翻弄され、材料や電気代、そして人件費等の高騰に日々悩まされています。

また市場の大きな変化により、もはやプレス単品加工だけでは企業として成り立たなくなってきました。その様な環境の中、当大阪金属プレス工業会では、それぞれの企業で培ってきた素晴らしいプレス技術や金型技術の知見を活かし、新しいお客様開拓の一助を担っていただけるよう、インターモールド(金属プレス加工技術展)への積極参加を推進しております。

また会員企業の経営者及び幹部社員に業界の見分を広げて頂くよう、国内工場見学や海外工場視察を開催しました。

国家試験「プレス技能検定」におきましては、大阪金属プレス工業会主催の学科・実技の講習会を行い、会員企業社員の受験者の合格率を高めてきました。

本年におきましても引き続き、会員企業若手社員を対象とした6回シリーズの「金属プレス経営塾」・国内工場見学会・プレス加工セミナー・経営セミナー等を開催させて頂く予定です。

また、賛助会員であるプレス機械メーカーや搬送装置メーカー等にも、最新の技術を紹介して頂き、生産性の向上の一助を担って頂きたいと思っています。

10月23日～25日には、日本金属プレス工業協会主催「2024 金属プレス国際会議 ICOSPA」が、大阪で開催されます。多くの方々に参加登録をして頂き、そして世界の金属プレス加工企業の経営者をお招きし、大阪らしいホスピタリティを実現させたいと考えております。

大阪金属プレス工業会の会員パートナー宣言である「会員の皆様を守り育てる、会員の皆様と一緒に未来につなぐ」をもとに、「プレス部品づくりを夢と希望を持てる魅力ある業界に」をビジョンに掲げ、本年も事業展開をしてまいる所存でございますので、尚一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員各社様の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

令和6（2024）年 年頭所感



日本金属プレス工業協会
会長 高木龍一

大阪の皆様、新年あけましておめでとうございます。

本年は10月に当大阪にて、10月23、24、25日と、世界各国の金属プレス工業会が集う国際会議が開催されます。林会長に実行委員長をお願い申し上げており、必ずや成功に導くよう、私も一緒になって努力して参ります。当地の会員の皆様も、是非ご参加していただくよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、日本金属プレス工業協会の現況ですが、活動においては昨年より引き続き、取引適正化の活動を経済産業省素形材産業室、素形材センター様の指導のもと取り組んでおり、資材、エネルギー費においては、ある程度の価格転嫁は進んできていますが、賃上げに結びつく労務費への価格転嫁が道半ばという状況です。当工業会に限らず、川中産業に従事するその他の工業会とも連携し、この課題に対して進展するよう、努力する所存です。

更に、米中に代表される世界情勢の緊張における地政学上の観点から、サプライチェーンの脆弱性に対する強化の必要性が重要になってきています。

各社の問題点を見える化していただき、経済産業省との連携を図りながら、安定操業に寄与していかなければならないと考えています。

当工業協会をご利用いただき、全国の同業者との情報交換や技術交流など、大阪の皆様の積極的な活用を期待しております。

今年は4月17日より3日間、大阪にてインターモールド金属加工技術展が開催されます。当地の皆様も多勢の出展、参加をお願い申し上げます。

今年も皆様のご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和5年 忘年会

日 時：令和5年 12月 5日（火） 午後6時30分～

場 所：ホテルモントレグラスミア大阪

22階「ハートウェイホール」

参 加 者：38名（会員企業のみ参加） （事務局含めて40名）



大阪の南（難波）地区にあるホテルモントレグラスミア大阪にて、当工業会主催の令和5年「忘年会」を開催いたしました。当工業会として初めて利用するホテルですが、22階宴会場の窓から眺める夜景が大変映えるロケーションでした。

忘年会は、はじめに林会長が挨拶に立ち、業界の一年間を振り返ると共に会員企業様の一年間の労をねぎらいました。次に関副会長の乾杯ご発声にて開宴し、ご歓談中は名刺交換や情報交換も活発に行われました。



林 会長 ご挨拶



忘年会 会場の全景



関副会長による
乾杯のご発声

宴もたけなわの中、予告していました『豪華賞品-大抽選会』を開催しました。当工業会の宴席では初めての企画です。林会長、関副会長、西村副会長、島田委員長、朝田委員長、濱田監事がそれぞれ景品を持ち寄り、提供者が自ら抽選箱の中から番号くじを引き、参加者の名札に記載された抽選用番号と合っていれば当選です。



抽選会の風景

賞品は、ウイスキー（山崎 12 年など計 3 本）、イワタニ製やきにくグリル器、イワタニ製炉ばた焼き器、マキタ掃除機、象印製品（2 商品）、パナソニック製シェーバー（3 商品）、女性用ハンドバッグなど豪華な賞品が合計 12 品もありました。参加者は 38 名でしたので、当選確率は約 1/3 という高確率でした。当選された方は贈呈式をした後に壇上でひと言喜びのお声を頂きました。皆様大変喜んでおられる様子でした。



当選した方へ賞品の贈呈

抽選会は大変好評で会場也大いに盛り上がりました。賞品をご提供頂ける役員の方にはご負担になるでしょうが、できればまた来年の忘年会でも実施出来ればよいと思っております。

忘年会の動画はこちら



西村副会長による閉宴のご挨拶、最後は一本締め

大抽選会の後もしばらくはご歓談頂いて美味しい料理とお酒で楽しいひと時をお過ごしいただきました。

残念ですが閉宴のお時間となり、閉宴のご挨拶は西村副会長が壇上に立ち、景気よく一本締めで最後を締めて頂きました。

金属プレス研修塾 神戸製鋼所見学

日 時：令和5年10月6日（金）午後1時～4時

訪 問 先：株式会社神戸製鋼所 加古川製鉄所（兵庫県加古川市金沢町1）

内 容：挨拶、DVD鑑賞、原料ヤード、高炉、転炉、熱延（冷延は見学せず）、応接で質疑応答など

参 加 者：16名（塾生15名、朝田武志 安全・技術委員長）

金属プレス研修塾は、1年間（計6回）の研修を通じて塾生を募集し、金属プレス製品が出来るまでの過程（①製鉄所→②コイルセンター→③金型製作→④プレス製品製作）を学び、そして塾生同士の交流を図る目的で今年から開始しました。8月の開講式に続いて今回は鉄鋼材料の製造工程を学ぶために、神戸製鋼所の加古川製鉄所を訪問し研修しました。

加古川製鉄所は1970年（昭和45年）8月に高炉の操業を開始し、鉄鋼一貫体制の神戸製鋼所最大の製鉄所です。敷地面積 約510ヘクタール（甲子園球場130個分）、従業員数 約2500人、年間粗鋼生産量 約600万トン



加古川製鉄所（写真はWikipediaから）

JR加古川駅に集合して送迎バスにて加古川製鉄所へ入りました。最初に双方の挨拶があり、紹介DVD鑑賞を致しました。次にいよいよ見学です。最初は原料ヤードを見学、原料となる鉄鉱石や石炭などが置かれベルトコンベアで高炉へ運ばれて行きます。高炉（高さ約100m）では鉄鉱石や石炭を入れて反応させ銑鉄（溶けた鉄）を作ります。銑鉄を取り出す作業が迫力満点なのですが、今回はタイミングが合わず見られませんでした。銑鉄は混銑車という特殊車両で運搬され転炉へと運ばれます。転炉では大量の酸素を吹き込んで炭素成分を取り除いて強靱な鋼を作ります。転炉から出た溶けた鋼は連続鑄造設備を経て、厚板工場や線材工場へ運ばれて成形されていきます。厚板工場では長いローラー上を何度も往復しながら徐々に薄く延ばされてオーダーされた厚みに加工されます。熱く光る鋼がローラーを流れる迫力ある光景を見ることが出来ました。薄板工場は厚さ3mm以下の鉄板を作る工場です。薄板工場は一方通行で薄く引き伸ばされて最後は巻き取られます。なお冷間圧延の見学は今回含まれませんでした。

見学後は質疑応答の場が設けられました。塾生の皆様は日常業務で鉄鋼材料を扱っておられるので専門的な質疑応答がありました。見る機会が少ない製鉄所を見学出来て大変良かったと皆さんの感想でした。



応接室での質疑応答



集合写真

公式動画
加古川製鉄所
（紹介用）



公式動画
加古川製鉄所
（リクルート用）



金属プレス研修塾 近江産業を研修

日 時：令和5年12月1日（金）午後2時～4時

訪 問 先：近江産業株式会社 本社・鶴浜鉄工センター （大阪市大正区鶴町4-13-13）

内 容：挨拶、会社説明、鶴浜鉄工センター見学、質疑応答など

参 加 者：17名（塾生 15名、関係者 2名）

金属プレス研修塾は10月に製鉄所（神戸製鋼所）にて鉄鋼材料の製造工程の研修を行ないましたが、続けて今回は近江産業株式会社を訪れてコイルセンターの研修を行ないました。

近江産業株式会社は1950年（昭和25年）10月に設立、資本金1億円、従業員約100名のコイルセンターです。コイルセンターとは鉄鋼メーカーで製造された鋼帯（通常「コイル」）を仕入れ、お客様向けに加工して販売する鉄鋼流通加工業者を指します。お客様の仕様に基づいてコイルを輪切りにする加工をスリット加工、鋼板（以下、シート）にする加工をレバー加工、そのシートを更に小さなシートにする加工をシャーリング加工と呼びます。

近江産業株式会社の特徴として材料を販売するのみではなく、併設された近江テクノメタル株式会社にて抜き・曲げ・プレス・溶接などの板金やレーザー加工も一貫して行うことができます。また材料は船で入荷して岸壁からクレーンで荷卸しされトラック輸送の必要がありません。お客様には納期短縮やコスト削減の付加価値が大いにありそうです。

見学を通して一番印象的なことは、安全面です。通路の色分け、動線の確保、センサーや天井ホロライトの設置などあらゆる所に安全に対する配慮と工夫がみられました。見学中に作業員の方が全員挨拶して頂いていたことも深く印象に残りました。



近江産業様から会社説明



岸壁から材料を搬入するクレーン



見学の様子



集合写真（本社の玄関前）

経営者懇話会（情報交換会）

日 時：令和5年9月27日（水）午後6時30～8時10分

場 所：たかつガーデン「鈴蘭」

参加者：11名（会員のみ参加）

参加企業：アカツキ工業(株)、朝田金属工業(株)、飯田金属工業(株)、(株)池崎鉄工所、カネエム工業(株)、
(株)関西発條製作所、(株)関西プレック、平金物(株)、(株)ニシムラ、濱田プレス工藝(株)、
(株)ハヤシ（11社 五十音順）

目 的：コロナは一旦落ち着いてはおりますが、プレス業界の最近の状況として、原材料や電気料金の高騰、半導体不足、人材の確保、事業継承問題など経営者の悩み事は絶えません。同業他社の皆さんはどのようにやり繰りをされておられるのか、何か良い施策やアイデアがあれば取り入れたい、など経営者同士の情報交換をして頂く目的で開催致しました。

総務・経営委員会の島田真輔委員長に司会進行をお願いして経営者懇話会を開始いたしました。

今回ご参加頂いた会員企業様は多種多様、プレス製造業でも取引先の業界が違う企業やプレスではなく板金の製造業、また製造業ではない賛助会員様も今回ご参加頂き、広く各業界のお話をお聞きすることが出来ました。

まずご参加者には自社の近況や課題をお話し頂きました。取引先は多種多様です。自動車、建築関連、住宅設備、LED、ソーラー、航空機、アパレル部品などです。収益状況も各社で違いますが、総じてコロナで落ちた収益は戻りつつあるがコロナ以前に比べるとまだ戻っていない（9割ほど）というお話でした。また取引先からの受注に頼るのではなく自社製品、自社ブランドを持ち、B to B から B to C を目指しているというお話もありました。自動車関連では半導体など部品不足でラインが止まることも多く、メーカーは車種やオプション品を限定して効率の良い生産をしており、円安の効果もあり大きな利益を上げているそうです。特にハイブリッド車はトヨタが大変好調で長い納車待ちが発生しているそうです。一方EV車ですが、各メーカーが力を入れて2030年までにという発表もあるが、現時点で金型もなくあと7年では実現しないであろうという意見でした。

製造原価の高騰については原材料とエネルギーの値上がり分はなんとか認めてもらっているが、製造コストや副資材などは認めてもらえず価格交渉が難航しているようです。

人材の確保については相変わらず各社とも大変苦勞をされているようです。新卒の採用は難しいという声が多く、派遣会社から補強するが長続きしない、外国人に頼らざるを得ないなど、ベトナム人が多いようですが最近ではネパール人を採用したというお話もありました。



経営者懇話会の様子

事業承継のお話では、すでに後継者が会社に居る方が多いように感じましたが、そうでない方も事情はそれぞれようです。株や資産を引き継ぐことも大事だが「経営」を引き継ぐことが最も大事であるというご意見でした。

経営者、経営幹部の方の悩みは尽きることがありませんが、予定の時間となり懇話会は終了しましたが、このあと近隣で懇親会（会食）を行い、情報交換、意見交換は続けました。

定期的に経営者懇話会を開催しておりますので、今回ご参加でない方も、他社の施策は大変参考になると思いますので、是非次回にご参加下さい。

理事会・技能検定委員会 報告

開催日時、場所	内 容	参加者	写 真
技能検定 反省・報告会 10月19日 16時55分～ たかつガーデン 「牡丹」	<ul style="list-style-type: none"> ・合格発表の結果報告 (合格率、費用、講習会効果等) ・検定用金型の補修について ・次年度の予定(会場案) ・その他問題点など (議事録は非公開・受検者秘)	10名 (検定委員 5名)	
第7回 技能検定 特別委員会 11月16日 18時30分～ たかつガーデン 「楓」	<ul style="list-style-type: none"> ・各講習会のまとめ ・検定用金型の補修について ・試験会場の変更について ・その他意見交換 (議事録は非公開・受検者秘)	4名	
第28回 理事会 10月24日 18時30分～ たかつガーデン 「鈴蘭」	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年上期決算、期末予想 ・令和5年上期会員異動状況 ・各委員会からの報告 ・忘年会の詳細 ・日金協・高度ポリテクセミナー ・ICOSPA 大阪 2024年 (議事録はHPに掲載)	14名 (理事 12名)	

プレス倶楽部 活動報告

大阪金属プレス工業会では「プレス倶楽部」があります。定期的にゴルフコンペを実施して会員同士の交流をはかっております。

7月に新型コロナウイルス感染症後の活動を再開してから今回はその第2弾として第15回ゴルフコンペを開催致しました。

＜第15回ゴルフコンペ＞

日時：11月19日(日) 10:00～

場所：ジャパンビレッジゴルフ倶楽部

参加者：8名(会員のみ)



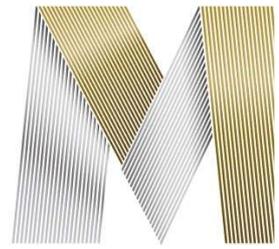
表彰式及び懇親会の様子

金属プレス加工技術展 2024

会期:2024年4月17日(水)~19日(金) 会場:インテックス大阪

金属プレス加工技術展 名古屋

会期:2024年6月26日(水)~28日(金) 会場:ポートメッセなごや



No. 1

※事前の予告なく変更等を行う場合がございますので予めご了承ください。

一般社団法人日本金属プレス工業協会 主催者ブースのご案内

●出展方法

【A】標準小間出展

標準小間サイズ:4㎡

幅:約2m × 奥行き:約2m × 高さ:約2.7m

◆標準小間料:無料

別途日金協ブース出展登録料39,600円(税込)がかかります。

[標準小間に含まれるもの]

- 標準展示ブース 4㎡ (W2000mm × D2000mm × H2700mm)
※システムパネルにて仕切り壁と展示台を設置
 - 展示台×2台 (サイズ:W990mm × D495mm × H770mmまたはH1000mm)
→展示台については、上記の標準仕様のモノをご用意致します。
 - 社名プレート×2枚(面) ※位置によって設置方法が異なります。
 - 照明HID スポット(70W)×1灯
 - コンセント(300W・100V)
 - パイプイス×1脚
 - パネルつり下げ金具 ※事前申込制
 - カーペット(色指定は不可)
- ※展示台や照明の設置位置は別途小間申込内容を登録
〈その他〉
- 展示会公式 WEB サイトでの企業紹介
 - オープンセミナーの無償開講(予定)

その他の設営・運営に関する費用はすべて自社にてご負担いただきます。

◆有料オプションの追加

①スペースの追加

追加料金:55,000円(税込) / 2㎡ (幅1m × 奥2m)

標準小間(4㎡)に2㎡単位(幅1m × 奥2m)で追加申込可能。

※スペースを追加しても備品の点数は上記と同じです。

※希望する追加スペースを2㎡単位でご記入ください。

※主催者ブースへの参加数によっては、追加のご希望に添えない場合もございます。

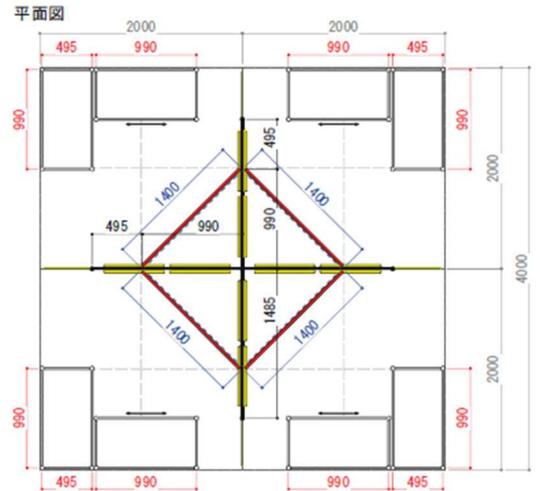
②オプションの追加

標準小間に含まれない装飾設備について

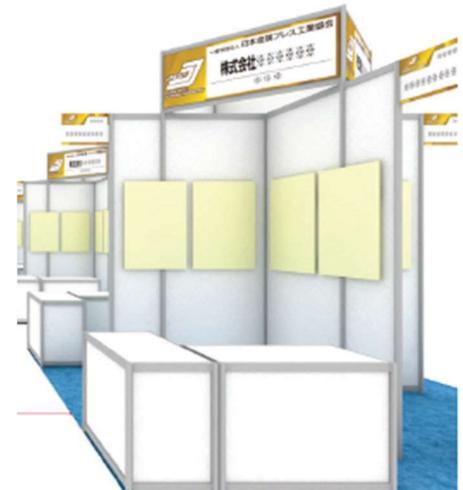
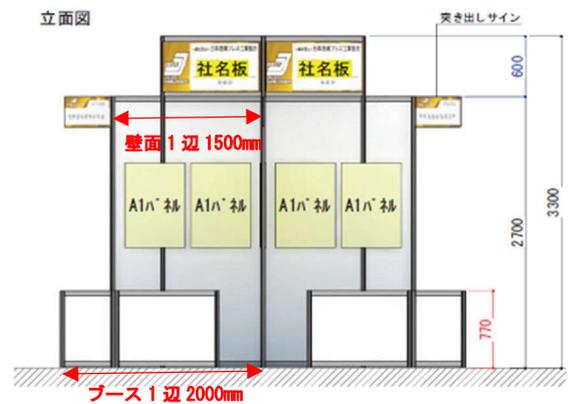
追加申し込みを行うことが可能です。

また、別途定める出展規程の範囲内で

持ち込みの装飾作業を行うことが可能です。



背面・横面の壁幅は1500mm。500mm短くして視認性を高めます。1面あたりA1パネル×2枚掲出は以前と変わらず可能です。



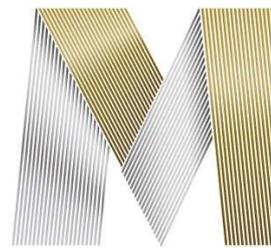
【標準小間 イメージ図】

金属プレス加工技術展 2024

会期:2024年4月17日(水)~19日(金) 会場:インテックス大阪

金属プレス加工技術展 名古屋

会期:2024年6月26日(水)~28日(金) 会場:ポートメッセなごや



No. 3

ご出展メリット

1. 出展費用

一般出展

日本金属プレス工業協会 主催者ブース

パッケージブース
469,700 円
9㎡・正会員価格・税込



標準小間出展の場合
39,600 円
4㎡・正会員のみ・税込

一般出展・パッケージタイプ9㎡ 469,700円(正会員価格・税込)に比べ、主催者ブースへのご出展は、標準小間4㎡の出展が39,600円(正会員のみ・税込)と出展費用をかなり抑えることができます。

展示会への出展は、出展費用のほかに展示物制作、アテンド要員の交通費・人件費などがかかります。

2. 新規顧客との出会い、リード獲得



同展示会には、金属プレス加工技術だけでなく、金型加工技術を取り巻くあらゆるメーカー・ユーザーが出展・来場します。最新技術・サービスや問題解決を求める来場者が、多く集まる場で自社技術をPRすることで新規顧客との出会いにつながります。

3. 積極的な商談の場



展示ブースでのサンプル展示、壁面への展示パネルは、重要なアピールポイントです。多くの企業が一堂に集まる展示会場で、自社ブースに足を止めてもらい、未来の商談へつなげる始まりの場所として活用してください。

主催者ブースは、統一デザインのブースですが、サンプル展示や壁面での展示パネルに装飾を加え、貴社カラーを前面に出すことも可能です。また、オプションでの実機・実演ブースでのサンプル加工デモを来場者へ見せることもできます。来場者の中には具体的な加工相談などを持ち込まれる場合もあります。営業担当者だけでなく、技術担当者もブースアテンドされることをおすすめします。また普段工場では人と話す機会のない新入社員には、この機会が来場者とのコミュニケーションの場ともなります。

大阪金属プレス工業会
会 員 各 位

令和 5年 12月 1日
(一社)大阪金属プレス工業会
代 表 理 事 林 秀 昭
総務・経営委員長 島 田 真 輔

令和6年 新春特別講演会 新年賀詞交歓会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
毎年の恒例ではありますが、会員企業各位をはじめ、関係行政機関及び関連団体の方々にもお越しいただき、令和6年を迎えるにあたり、新年賀詞交歓会を開催致します。

つきましては、年初なにかとご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようお願い致します。

尚、賀詞交歓会に先立ち、新春特別講演会を開催致しますので、併せてご参加下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。 敬具

記

- 【日 時】 令和6年1月29日(月)
第1部 新春特別講演会 16:00~17:15(予定)
講師：溝畑宏氏 (大阪観光局 理事長)
演題：「大阪・関西万博とIRにおける大阪のインバウンド
需要と大阪市の観光資源の取り組み」

<講師略歴> (wikipedia から抜粋)

1960年生まれ 京都府出身 東京大学法学部卒業後、自治省(現：総務省)に入省。1990年(平成2年)自治省から大分県庁に出向、ワールドカップの大分開催の運営に携わり、大分トリニータでも代表取締役役に就任し2008年Jリーグカップ優勝など、チームの躍進に手腕を振るった。2010年観光庁長官に就任し観光客を日本に誘致した。2016年大阪観光局の局長として就任し、様々なアイデアを披露して大阪への訪日外国人旅行者数の向上に務めた。また大阪湾の人工島夢洲に誘致の進められているカジノ統合型リゾート施設を踏まえ、「世界最高水準の観光都市を目指す」としている。

- 第2部 新年賀詞交歓会 17:30~19:30(予定)
会食は 着席&buffet料理を予定

- 【会 場】 シェラトン都ホテル大阪 (大阪市天王寺区上本町6-1-55)
第1部 新春特別講演会 3階 「金剛の間」
第2部 新年賀詞交歓会 3階 「葛城の間」

- 【参 加 費】 お一人目 10,000円 お二人目から 5,000円 (消費税込み)

(送り先) Fax : 06-6762-7633 E-Mail : omsa1@omsa.or.jp

＜参加申込書＞ お申込みは1月15日(月)まで

令和6年 新春特別講演会・賀詞交歓会 に 参加致します。

会社名 : _____

窓口ご担当者 : _____

Eメール : _____

ご参加者 (下記にご記入お願いします)

役職名	お名前	ご参加：○ 不参加 ×		参加費
		特別講演会 16:00～	賀詞交歓会 17:30～	
				10,000円
				5,000円
				5,000円
				5,000円

(消費税込み)

(お支払いについて)

大阪金属プレス工業会へお振込みお願いします。

当日現金ではお受け取り出来ませんので、よろしくをお願いします。

お振込後のキャンセルは1月22日までにご連絡をお願いします。それ以降はご返金が出来ません。

(振込先) PayPay 銀行 ビジネス営業部
口座番号 普通 6453572
(一社) 大阪金属プレス工業会
シャ) オオサカキンソクプレスコウギョウカイ

お振込みの期日は
1月25日 までをお願いします

令和5年11月

(一社)大阪金属プレス工業会 (共催)

(一社)東大阪労働基準協会 (主催)

動力プレス機械の金型調整の業務の特別教育(学科)の開催について

労働安全衛生法では、従業員を動力プレス機械の金型の取り付け、取り外し又は調整の業務につかせる場合は、特別教育(4科目8時間の学科教育及び2時間の実技教育)を行わなければならないことになっております。

各事業所において特別教育を実施して頂くことが望ましいのですが、実施することが困難な学科教育について、当工業会では東大阪労働基準協会と共催で講習会を実施いたします。まだ教育を行っていない企業様におきましては、是非この機会にご参加されますようご案内致します。

記

対象者 ・動力により駆動されるプレス機械の金型、安全装置もしくは安全囲いの取り付け、取り外し又は調整の業務に従事する者(安衛法59条3項並びに安衛則36条2号)
・技能検定「金属プレス加工」「プレス金型製作」1級・2級を受検される予定の方
(※実技試験実施日までに取得が必要な資格です・・・技能検定受検案内に記載)

講習日時 2024年(令和6年) 2月27日(金) 9:45~19:10
講習会場 東大阪市文化創造館2階創造支援室C1・2 東大阪市御厨南2-3-4
近鉄奈良線 八戸ノ里駅 北200m 徒歩約5分
受講料 1名 会員8,800円・非会員9,900円(テキスト代・消費税含みます)
(会員とは大阪金属プレス工業会、又は東大阪労働基準協会の会員)

申込先 別紙の申込書に必要事項を記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

締め切り 2月13日までに申し込みと受講料の支払いをして下さい。
※振込先は申込書に記載していますので、2月13日までにお支払い下さい。
※振込、お支払いのお問い合わせは 東大阪労働基準協会 06-6723-3450 へ

講習科目 プレス機械及び安全装置又は安全囲いに関する知識
プレス機械による作業に関する知識 ・関係法令
プレス機械の金型、安全装置若しくは安全囲いの点検、取付け、調整等に関する知識等

修了証 全講習を受講された方に修了証を交付します。
※遅刻、早退等で受講時間が足りない方には交付されません。ご注意下さい。

実技講習 実技は各事業場において教育して下さい。
プレス機械の金型、プレス機械、又は安全装置、もしくは安全囲いの点検、取付け、取り外し及び調整等について実技講習・・・2時間以上

お問合せ (一社)大阪金属プレス工業会 TEL:06-6762-8629

※注意:受講希望者が10名未満の場合は講習を中止することがあります。

令和6年2月27日 開催

動力プレス機械の金型調整の業務の特別教育(学科) 受講申込書

事業所名: _____
 所在地: 〒 _____
 連絡担当部署: _____
 担当者名: _____
 TEL / FAX: _____ / _____
 メールアドレス: _____
 受講票送付方法: FAX / メール (どちらか○で囲んでください)

(※印欄には記入しないでください)

※	フリガナ		※	フリガナ	
	受講者氏名			受講者氏名	
	自宅/ 携帯番号			自宅/ 携帯番号	
	生年月日	S・H 年 月 日		生年月日	S・H 年 月 日
※	フリガナ		※	フリガナ	
	受講者氏名			受講者氏名	
	自宅/ 携帯番号			自宅/ 携帯番号	
	生年月日	S・H 年 月 日		生年月日	S・H 年 月 日
※	フリガナ		※	フリガナ	
	受講者氏名			受講者氏名	
	自宅/ 携帯番号			自宅/ 携帯番号	
	生年月日	S・H 年 月 日		生年月日	S・H 年 月 日

新型コロナウイルス感染拡大の予防対策について、施設より利用者名簿(氏名・電話番号)の提出依頼がありましたら、自宅もしくは携帯番号をご記入ください。
 名簿は感染が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供されます。

・受講料

・申込・支払期限

(大阪金属プレス工業会 又は 会員 一人あたり 8,800円(税込)
 東大阪労働基準協会の) 非会員 一人あたり 9,900円(税込)

2月13日まで

・受講者 名 合計 円

・振込予定日 月 日

・振込先: 関西みらい銀行 東大阪永和支店 普通 0073577 ジャ)ヒガ)ソオサカロウト)ウキ)ンキョウカイ

- ・申込書をFAXいただき、受講料のご入金をこちらで確認しましたら申込み完了となります。
- ・ご担当者様に受講票を上記で選択された方法でお送りいたします。
 (ご記入いただいたアドレスに送信できない場合はFAXもしくは郵送いたします。)
- ・受講票がご入金日から7営業日以内に届かない場合はご連絡ください。
- ※ 締切日までに定員に達する場合があります。 ※ 入金締切日が過ぎたキャンセルは返金できません。ご了承ください。
- ※ 受講される方の変更は前日まで受け付けます。お電話でご連絡下さい。

会員の皆様を「守り育てる」 会員の皆様と一緒に「未来につなぐ」

(一社)大阪金属プレス工業会50周年 会員パートナー宣言

我が工業会ならではの情報発信力とネットワーク環境を活かしながら

会員各社の社員様の育成のお手伝いをし

各社の業績の向上を支援します。

そしてこれらの果実を享受した会員自身が

次に工業会の情報収集力とネットワークをさらに強めていきます。

会員総てが工業会のパートナーとしての自覚を持っているからです。

ますます厳しさを増すグローバル競争の中

50周年を機に、ここ関西・大阪の地で活躍する会員の皆様が発展され

それが大阪のプレス業界を活性化して

将来世代に夢と希望を繋ぐことを目指します。

2016年5月26日

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 理事一同